

原子力防災についての県政モニターアンケート結果

定期検査で停止中の関西電力大飯発電所 3,4 号機（福井県おおい町）の再稼働問題に関連して、平成 24 年 4 月 17 日に、政府に対し滋賀県知事と京都府知事が共同で「国民的理解のための原発政策への提言」を提出いたしました。

この提言では、福島原発事故を踏まえた原子力施設の安全性の確保や地域の未来に関わる今後のエネルギー政策、原子力政策のあり方等について意見を述べています。

そこで、県民の皆さんにご意見をいただき、今後の原子力防災行政を進めていく上での参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

1 実施時期

平成 24 年 5 月 16 日～23 日

2 対象者

県政モニター 357 人

3 調査方法

しがネット受付サービス

4 回答数

288 人（回収率 80.7%）

【属性】

| (性別) | 人数 | 割合 |
|------|-----|--------|
| 女性 | 125 | 43.4% |
| 男性 | 163 | 56.6% |
| 総計 | 288 | 100.0% |

| (年齢) | 人数 | 割合 |
|----------|-----|--------|
| 10・20 歳代 | 22 | 7.6% |
| 30 歳代 | 58 | 20.1% |
| 40 歳代 | 66 | 22.9% |
| 50 歳代 | 41 | 14.2% |
| 60 歳代 | 67 | 23.3% |
| 70 歳以上 | 34 | 11.8% |
| 総計 | 288 | 100.0% |

| (地域) | 人数 | 割合 |
|-------|-----|--------|
| 湖東地域 | 11 | 3.8% |
| 湖北地域 | 14 | 4.9% |
| 甲賀地域 | 28 | 9.7% |
| 高島地域 | 9 | 3.1% |
| 大津地域 | 105 | 36.5% |
| 東近江地域 | 43 | 14.9% |
| 南部地域 | 78 | 27.1% |
| 総計 | 288 | 100.0% |

今回のアンケートは、県政モニターを対象として行っており、対象者・回答者とも県全体の性別・年齢別・地域別人口の構成比を反映したものではありません。

問1. 大飯原発の再稼働についてどのようにすべきと思いますか。

大飯原発の再稼働については、「条件が整うまで再稼働すべきではない」が43.8%で最も多く、次いで「今後も再稼働すべきではない」(36.8%)、「現状で再稼働すべきである」(16.7%)となっています。

| | 人数 | 割合 |
|---------------------|-----|-------|
| 1. 現状で再稼働すべきである | 48 | 16.7% |
| 2. 条件が整うまで再稼働すべきでない | 126 | 43.8% |
| 3. 今後も再稼働すべきではない | 106 | 36.8% |
| 4. わからない | 8 | 2.8% |

| | | 年齢 | | | | | | | 全体 |
|-----------------------------|---------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| | | 10・20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | | |
| 問1について、大飯原発の再稼働にどのように思いますか。 | 1. 現状で再稼働すべきである | 4 | 9 | 11 | 5 | 12 | 7 | 48 | |
| | | 18.2% | 15.5% | 16.7% | 12.2% | 17.9% | 20.6% | 16.7% | |
| | 2. 条件が整うまで再稼働すべきでない | 10 | 25 | 26 | 22 | 28 | 15 | 126 | |
| | | 45.5% | 43.1% | 39.4% | 53.7% | 41.8% | 44.1% | 43.8% | |
| | 3. 今後も再稼働すべきではない | 8 | 21 | 27 | 13 | 25 | 12 | 106 | |
| | 36.4% | 36.2% | 40.9% | 31.7% | 37.3% | 35.3% | 36.8% | | |
| | 4. わからない | 0 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 8 | |
| | | 0.0% | 5.2% | 3.0% | 2.4% | 3.0% | 0.0% | 2.8% | |
| | 合計 | 22 | 58 | 66 | 41 | 67 | 34 | 288 | |

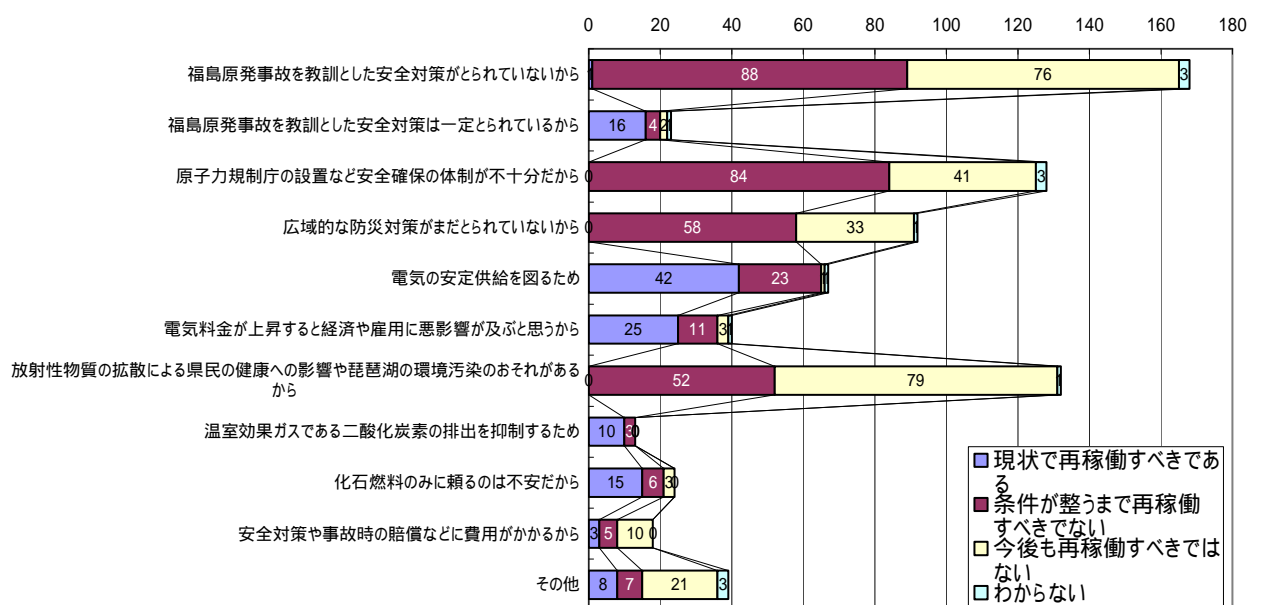
問2. 問1の選択肢を選択した理由は何ですか。(は3つまで)

問1の選択肢を選択した理由については、「福島原発事故を教訓とした安全対策がとられていないから」が58.1%で最も多く、次いで「放射性物質の拡散による県民の健康への影響や琵琶湖の環境汚染のおそれがあるから」(45.7%)、「原子力規制庁の設置など安全確保の体制が不十分だから」(44.3%)、「広域的な防災対策がまだとられていないから」(31.8%)となっています。

| | 人数 | 割合 |
|--|-----|-------|
| 福島原発事故を教訓とした安全対策がとられていないから | 168 | 58.1% |
| 福島原発事故を教訓とした安全対策は一定とられているから | 23 | 8.0% |
| 原子力規制庁の設置など安全確保の体制が不十分だから | 128 | 44.3% |
| 広域的な防災対策がまだとられていないから | 92 | 31.8% |
| 電気の安定供給を図るため | 67 | 23.2% |
| 電気料金が上昇すると経済や雇用に悪影響が及ぶと思うから | 40 | 13.8% |
| 放射性物質の拡散による県民の健康への影響や琵琶湖の環境汚染のおそれがあるから | 132 | 45.7% |
| 温室効果ガスである二酸化炭素の排出を抑制するため | 13 | 4.5% |
| 化石燃料のみに頼るのは不安だから | 24 | 8.3% |
| 安全対策や事故時の賠償などに費用がかかるから | 18 | 6.2% |
| その他 | 39 | 13.5% |

「現状で再稼働すべきである」と答えた人は、「電気の安定供給を図るため」が最も多く、「条件が整うまで再稼働すべきでない」と答えた人は、「福島原発事故を教訓とした安全対策がとられていないから」が最も多く、「今後も再稼働すべきではない」と答えた人は、「放射性物質の拡散による県民の健康への影響や琵琶湖の環境汚染のおそれがあるから」が最も多くなっています。

| | | | | | | |
|----------------------|--|-----|-----|-----|----|-----|
| 問2・問1の選択肢を3つまで選択した理由 | 原子力規制庁の設置など安全確保の体制が不十分だから | 0 | 84 | 41 | 3 | 128 |
| | 広域的な防災対策がまだとられていないから | 0 | 58 | 33 | 1 | 92 |
| | 電気の安定供給を図るため | 42 | 23 | 1 | 1 | 67 |
| | 電気料金が上昇すると経済や雇用に悪影響が及ぶと思うから | 25 | 11 | 3 | 1 | 40 |
| | 放射性物質の拡散による県民の健康への影響や琵琶湖の環境汚染のおそれがあるから | 0 | 52 | 79 | 1 | 132 |
| | 温室効果ガスである二酸化炭素の排出を抑制するため | 10 | 3 | 0 | 0 | 13 |
| | 化石燃料のみに頼るのは不安だから | 15 | 6 | 3 | 0 | 24 |
| | 安全対策や事故時の賠償などに費用がかかるから | 3 | 5 | 10 | 0 | 18 |
| | その他 | 8 | 7 | 21 | 3 | 39 |
| | 合計 | 120 | 341 | 269 | 14 | 744 |



**問3. 原子力発電所が稼働しない場合、今年の夏の電力不足が懸念されています。これ
を乗り切るポイントは、夏場平日の13時から16時の時間帯の電力需要のピークを低く抑え
ていく節電対策が重要となりますが、消灯やエアコンを切るなど各家庭でこの対策に協力
することができますか。**

家庭における節電対策への協力については、「無理のない範囲でできる」が53.8%で最も多く、次いで多い「大いにできる」(40.3%)を合わせると94.1%となっています。

| | 人数 | 割合 |
|----------------|-----|-------|
| 1. 大いにできる | 116 | 40.3% |
| 2. 無理のない範囲でできる | 155 | 53.8% |
| 3. あまりできない | 10 | 3.5% |
| 4. できない | 7 | 2.4% |

| | | 性別 | | |
|---|--------------------|-------|-------|-------|
| | | 男性 | 女性 | 全体 |
| 問 3 ・ 節 電 へ の 協 力 | 1. 大いにできる | 66 | 50 | 116 |
| | | 40.5% | 40.0% | 40.3% |
| | 2. 無理のない範囲で できる | 84 | 71 | 155 |
| | | 51.5% | 56.8% | 53.8% |
| | 3. あまりできない | 6 | 4 | 10 |
| 3.7% | | 3.2% | 3.5% | |
| 4. できない | 7 | 0 | 7 | |
| | 4.3% | 0.0% | 2.4% | |
| 合計 | | 163 | 125 | 288 |

問4. 大飯原発再稼働について、これまで国は十分な説明をしていると思いますか。

大飯原発再稼働について国が十分な説明をしているか、という点については、「思わない」が55.6%で最も多く、次いで多い「どちらかというと思わない」(30.9%)を合わせると86.5%となっています。

| | 人数 | 割合 |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 思う | 5 | 1.7% |
| 2. どちらかと思う | 18 | 6.3% |
| 3. どちらかというと思わない | 89 | 30.9% |
| 4. 思わない | 160 | 55.6% |
| 5. わからない | 16 | 5.6% |

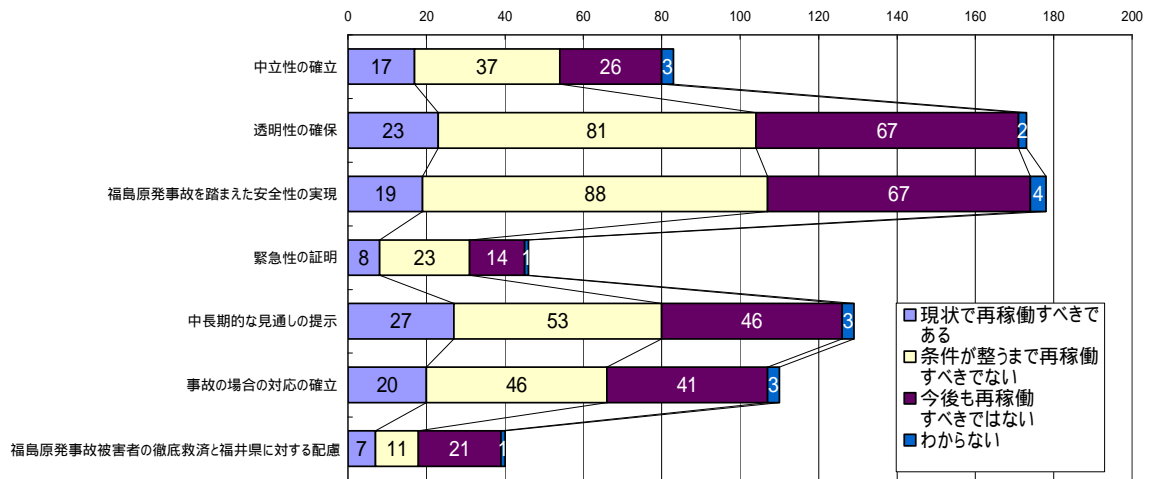
| | | 問1. 大飯原発の再稼働についてどのようにすべきと思いますか。 | | | | |
|---------------------------------------|-----------------|---------------------------------|------------------|---------------|-------|-------|
| | | 現状で再稼働すべきである | 条件が整うまで再稼働すべきでない | 今後も再稼働すべきではない | わからない | 全体 |
| 問4 大飯原発再稼働について、これまで国は十分な説明をしていますか。 | 1. 思う | 4 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| | | 8.3% | 0.8% | 0.0% | 0.0% | 1.7% |
| | 2. どちらかというと思う | 10 | 6 | 1 | 1 | 18 |
| | | 20.8% | 4.8% | 0.9% | 12.5% | 6.3% |
| | 3. どちらかというと思わない | 22 | 43 | 21 | 3 | 89 |
| | | 45.8% | 34.1% | 19.8% | 37.5% | 30.9% |
| | 4. 思わない | 7 | 69 | 81 | 3 | 160 |
| | | 14.6% | 54.8% | 76.4% | 37.5% | 55.6% |
| | 5. わからない | 5 | 7 | 3 | 1 | 16 |
| | | 10.4% | 5.6% | 2.8% | 12.5% | 5.6% |
| | 合計 | 48 | 126 | 106 | 8 | 288 |

問5. 「国民的理解のための原発政策への提言」7項目の中であなたが重要だと思う項目はなんですか。(は3つまで)

国民的理解のための原発政策への提言の中で重要と思われる項目については、「福島原発事故を踏まえた安全性の実現」が61.6%で最も多く、次いで「透明性の確保」(59.9%)、「中長期的な見通しの提示」(44.6%)、「事故の場合の対応の確立」(38.1%)となっています。

| | 人数 | 割合 |
|--------------------------|-----|-------|
| 中立性の確立 | 83 | 28.7% |
| 透明性の確保 | 173 | 59.9% |
| 福島原発事故を踏まえた安全性の実現 | 178 | 61.6% |
| 緊急性の証明 | 46 | 15.9% |
| 中長期的な見通しの提示 | 129 | 44.6% |
| 事故の場合の対応の確立 | 110 | 38.1% |
| 福島原発事故被害者の徹底救済と福井県に対する配慮 | 40 | 13.8% |

| | | 問1. 大飯原発の再稼働についてどのようにすべきと思いますか。 | | | | |
|---|--------------------------|---------------------------------|------------------|---------------|-------|-----|
| | | 現状で再稼働すべきである | 条件が整うまで再稼働すべきでない | 今後も再稼働すべきではない | わからない | 全体 |
| 問5. 「国民的理解のための原発政策への提言」7項目の中であなたが重要だと思う項目はなんですか。(は3つまで) | 中立性の確立 | 17 | 37 | 26 | 3 | 83 |
| | 透明性の確保 | 23 | 81 | 67 | 2 | 173 |
| | 福島原発事故を踏まえた安全性の実現 | 19 | 88 | 67 | 4 | 178 |
| | 緊急性の証明 | 8 | 23 | 14 | 1 | 46 |
| | 中長期的な見通しの提示 | 27 | 53 | 46 | 3 | 129 |
| | 事故の場合の対応の確立 | 20 | 46 | 41 | 3 | 110 |
| | 福島原発事故被害者の徹底救済と福井県に対する配慮 | 7 | 11 | 21 | 1 | 40 |
| | 合計 | 121 | 339 | 282 | 17 | 759 |



問6. 「国民的理解のための原発政策への提言」をあなた自身はどう思いますか。

国民的理解のための原発政策への提言については、「どちらかという賛同する」が37.5%で最も多く、次いで多い「賛同する」(36.5%)と合わせると74.0%となっています。

| | 人数 | 割合 |
|-----------------|-----|-------|
| 1. 賛同する | 105 | 36.5% |
| 2. どちらかという賛同する | 108 | 37.5% |
| 3. どちらかという賛同しない | 31 | 10.8% |
| 4. 賛同しない | 24 | 8.3% |
| 5. わからない | 20 | 6.9% |

| | | 問1. 大飯原発の再稼働についてどのようにすべきと思いますか。 | | | | |
|---|-----------------|---------------------------------|------------------|---------------|-------|-------|
| | | 現状で再稼働すべきである | 条件が整うまで再稼働すべきでない | 今後も再稼働すべきではない | わからない | 全体 |
| 問6 ・「国民的理解のための原発政策への提言」 をあなた自身はどう思いますか。 | 1. 賛同する | 4 | 50 | 50 | 1 | 105 |
| | | 8.3% | 39.7% | 47.2% | 12.5% | 36.5% |
| | 2. どちらかという賛同する | 25 | 55 | 26 | 2 | 108 |
| | | 52.1% | 43.7% | 24.5% | 25.0% | 37.5% |
| | 3. どちらかという賛同しない | 10 | 11 | 9 | 1 | 31 |
| | | 20.8% | 8.7% | 8.5% | 12.5% | 10.8% |
| | 4. 賛同しない | 5 | 4 | 15 | 0 | 24 |
| | | 10.4% | 3.2% | 14.2% | 0.0% | 8.3% |
| | 5. わからない | 4 | 6 | 6 | 4 | 20 |
| | | 8.3% | 4.8% | 5.7% | 50.0% | 6.9% |
| | 合計 | 48 | 126 | 106 | 8 | 288 |

県政モニターアンケート 自由記述回答（抜粋）

| 問6 | 問7 |
|--------------------|--|
| <p>1 賛同 する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい言葉で県民の声が表明されている。 ・日本で、原子力災害を二度と起こしてはならない！ ・これほど大きな問題が、事故以来脚光を浴びているが、あまりにも、中央の勉強不足、知識の無さ、を地方に、弱者に押し付けている今日、地方から、自らを守るということをしなくて、誰がするのか？地方分権の最たるものと思う。 ・1400万人の命を預かる水がめのある琵琶湖がある滋賀県を統治する知事として当然と思う。 ・ここにいたっては国、とくに現政権がいうことに全く信用が置けないし、言うことなすことに一貫性がない以上もっともな提言だと思う。何がどこまでできたから再稼働しても問題ないと言えるのか国ではなく、中立機関の見解が知りたい。 ・国が原発再稼働に関して、きちんとした説明をしていないし、正直な情報も流していない。 ・透明性を確保し皆が納得できる様にしてほしい。 ・私も大いに賛成する内容だから。電力不足になると不便になり困る事もあると思うが安全が確認されるまでは節電を心がけて生活しようと思う。 ・国、県、市ともに早急に太陽光発電、用水路での小規模発電等への補助金を多くしたら節電しなくても良いかも知れない。 ・人間の手に負えない災害が起こった場合、対処できないことがあると明確になった。よって、今後、この課題をクリアできない限り再稼働すべきではない。つまり、原発は廃止です。廃止に向けて建設的な議論をしてほしい。 ・福島原発事故を教訓とした安全対策や広域的な防災対策がまだとられていない。 ・福島原発事故を教訓にして、原発に頼らない電力確保を目指すべき。 ・安全神話が崩れた今、もう一度原点に戻り事故原因の確認、対策再確認が必要と考える。あわてて再稼働する必要なし。 ・原発稼働という前提で国はすべてを進めているようにしかみえない。原発の当初のスタートが誤っていたのだから全てが停止したいま一から原発稼働の是非を検証すべき。 ・前文から各項目全てに賛同するが、脱原発ありきの前提ではなく、卒原発の方向でエネルギー確保の中長期計画を推進していただきたい。 ・脱原発依存を進める絶好に機会なのに、そのロードマップが示されていない。代替エネルギーの見通しが、場当たりのである。 ・滋賀・京都は、大飯原発にじかに関連する県・府であり、住民が納得するまで国と議論をし、住民の安全を確保してほしい。 ・福島で放射能被害を受けた方々や地域の収拾も検証も中途なのに安全だとは国民のだれもが思っていないはず。 ・県には安全性重視で原子力発電のチェックをお願いします。 |

| 問6 | 問7 |
|------------------------|--|
| <p>2 どちらかというかと賛同する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・節電して現状程度の電力が供給できるなら再稼働は必要ない。大きく不足するなら再稼働もやむなし。 ・経済に及ぼす影響と、原発危険区域の地元としての安全の確保及び保障を考えると、両方(再稼働と中立的な安全確保までの一時停止)のバランスが大事。 ・安全性が明確でないまま再稼働するのは絶対に反対。電力不足は否めないかも知れないが、みんなで努力すれば絶対なんとかなる。事故が起きて、琵琶湖の水が飲めなくなり、経済も悪くなることを思ったら、節電くらいな事は無い。今の現状で再稼働はありえないと思う。 ・エネルギーを原発に依存している現在では再稼働なしではなりたないし、なんだかんだと言っても節電とか計画停電など我慢するのは難しい。今の対策では不安が大きいが、妥協点は必要だと思います。 ・関西での夏の電力不足が懸念される報道があるが、どれだけ確かな情報かは不透明であり、節電に関しても真剣に受け止めて協力していけばいいのかが疑問。国民に、だましましの情報を流さず、しっかりとしたデータ分析、公開を求める。 ・恒久措置に代わる安全性の担保、第三者委員会の意見を踏まえた客観的データ等による検証を行うという点に賛成する。何よりも安全性を重視したものであってほしい。 ・安全確保は永遠に続くものであり100%を追求することは出来ないと思う。 ・エネルギーに対する中長期的な計画は脱原発を謳う前に立てていく必要があると考えている。脱原発の報道が多いが、できもしないことをし続けると結果的に国民、県民の生活に大きな遺恨を残す。早くに新エネルギーに対する計画を立てて、実行して欲しいと願っている。 ・現状では、日本の産業を支えるために電気は絶対に必要であり、原子力は外せない。自然エネルギーは十数年の準備が必要であり、いずれも確立できていない中途的技術である。化石燃料の多量輸入もまた、国内経済力の低下となる。 ・今まで原発の恩恵を受けてきたことを事実であり、その点の評価を盛り込んだ提言をすることでもっと伝わり易いと思料する。 ・中長期的な見通しの提示を求めているから。 例えば、長期的には原発を廃止するが短期的には再稼働するといった政府の目標指針が知りたい。 ・将来的には原発はなくして欲しいし、できるなら再稼働もして欲しくないのだが、現実的に今、大飯原発にかかわっている人、今まで携わってくださった福井県の事情を考えると、反対反対とばかり言ってもいいのかなと思う。 ・大飯原発の再稼働を条件付きで認めないという以上は <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政が電力が必要な医療部門などへの供給体制を確立。 2. 行政が節電努力をした産業界などへのインセンティブを準備し提示。 |

| 問6 | 問7 |
|------------------|---|
| 3 どちらかというかと賛同しない | <ul style="list-style-type: none"> ・福島のことを踏まえて原発には頼るべきでないと思うので。 ・福島の事故原因がはっきりしていないのに政府は電力不足ばかり言っているから。 ・近畿の水がめを滋賀県としてまもる必要があるから。 ・福島原発の例を考えると、国民に理解できるような回答をまずすべきである。しかし全面的に賛同できない。 簡単な回答、意見を言うべきでない、難しい問題でもある。 ・本当に国民のことを思っているの提言なのかよくわからない。 ・責任を他人にばかりおしつけている感じがする。 ・理解できるから。 ・両知事による提言ですが、どこまでの有効性があるのかが不明。 また今回の提言後の国への対応はどの様になり、福井県を含めた他の自治体との連携をどの様にするのかも明言して頂きたい。 |
| 4 賛同しない | <ul style="list-style-type: none"> ・二度と福島原発のような事故を繰り返してはいけなから。 ・地震大国である日本で、原子力発電を用いるべきではない。 ・どうやってもリスクは出ると思うのですが私個人としては琵琶湖が汚染される危険性のあるような政策には理解できません。 ・本当の安全が確認されなければ、賛同もできない。このままでは、国の危機である。 ・国民が電気の使用を控えていくべきだ。 ・夏の電力不足という理由で再稼働を許可してしまったらそのまま稼働する事になるだろうし他の原発以外の発電方法を取らなくなったら嫌です。 ・原子力発電を稼働することにより地元へ流れる補助金目当てに必死なのが見えすぎるので。燃料に対する補助金でなく、新たに安全対策との名目で補助金を手にしようとする県の施策に憤りを感じる。 ・県民の意見の集約とは思えない。知事が一方的に発言していると思うため。 ・内容が、私たちの気持ちとかけ離れているように思うから。 ・『中立的な機関による専門的な判断..』をいまさら信用できる訳が無い。 |
| 5 わからない | <ul style="list-style-type: none"> ・私自身に詳しい原発の知識がなく、提言に書いてあることが正しいのかどうかの判断ができないため。 ・あの地域に原発が集中していることがわからない。 福井県への経済的配慮と述べているのがわからない。 原発の稼働限界以後の展望を明確にしないことがわからない。 ・あくまで提言なので、これが守られるかどうかかわからないというのが引かかる ・提言されていることはどれも大事なことでありますが、仮にこれらが実現しても、原発再稼働に反対する人は少なからずいると思うからです。何をやったとしても、国民の大半が再稼働を容認するということは無いような気がします。 ・自分なりにいろいろ調べていますが、どちらの意見もそれぞれ理解できるので今は賛成か反対か迷っているところです。 |